

## 新潟こども保育カレッジ授業計画（シラバス）の作成における留意事項のまとめ

平成 31 年 3 月 13 日作成  
新潟こども保育カレッジ

### [授業料のタイトル（科目名）]

正式な科目名称を記載。

### [授業の種類]

講義、演習、実習のいずれかを記載。

### [授業担当者]

授業を担当する教員の氏名を記載。複数担当の場合は全員記載。

### [当該科目に関する実務経験]

当該科目に関する実務経験がある場合は、その内容を簡潔に記載。

（例）〇〇にて□□業務を担当。

### [授業の回数]

総授業回数を記載。

### [時間数（単位数）]

総授業時間数（授業回数×2）を記載。

### [配当学年・時期]

開講学年、授業の時期を記載。

### [必修・選択]

必修か選択かを記載。

### [授業の目的・ねらい]

授業全体がどのような目的のもとで実施されるのかを記載。

### [授業全体の内容の概要]

授業がどのような方法で行われるのか、それにはどのような意図があるのかを記載。

### [授業終了時の達成課題（到達目標）]

授業の到達目標を具体的に記載。留意事項は下記の 5 点。

- ・ 学生主体の記述にする。
- ・ 何が修得できるのか具体的に示す。
- ・ 測定可能な評価基準を得られるものにする。
- ・ 学生が到達可能なものにする。
- ・ 箇条書きでまとめる。

### [授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

コマごとに、授業のテーマ・内容・授業方法等を具体的に記載。

[使用テキスト・参考文献]

編著者名、『書名』、出版社を記載。

[成績評価の方法と基準]

記載すべき項目は下記の6点。

- ・出席率80%以上が成績評価を受けるための基準であること。
- ・総合点が考查点75%と平常点25%で構成されていること。  
(学科内で配点の変更が認められている場合は、その配点で記載する)
- ・成績評価には学内共通の基準があること。
- ・絶対評価(2年次は相対評価)を行っていること。
- ・考查点の根拠となる試験の方法と、その方法を採用する理由。
- ・平常点の根拠となる評価基準。

※考查点の根拠となる試験が到達目標に基づく筆記試験ではない場合(実技、レポート、課題、確認テスト等)は、その方法や評価基準を客観的かつ具体的に記載。

※平常点は、評価ポイントを簡潔に記載。なお、出欠点(15%)は平常点に含むが、「授業への積極的な参加」等の表現内に含め、出欠が得点化されることを明記しない。

<全体を通しての留意事項>

- ・「具体的到達目標」など、シラバス以外に、シラバスよりも詳細なことが記載されているものがあることを伺わせる記述をしない(それも追加で全科目必要になる為)。